

本校は、別府の地に明治6年開校以来、今年で143年目を迎えます。稀少植物が繁る別府沼などの恵まれた自然や広く整備された校庭、設備の整った校舎等、たいへん恵まれた環境にあります。歴史と伝統の重みをしっかりと受け止め、保護者・地域の皆様と共に『元気いっぱい 笑顔いっぱい あいさついっぱい』の美しい学校づくりを、一層進めてまいりますので、家庭・地域の皆様の御支援御協力をお願いいたします。

■ 別府小学校の沿革（概要）

明治	6. 10. 6	西別府小学校と称し創立
	34. 4. 1	初代校長着任 原口竹次郎氏
	37. 4. 1	2代校長着任 飯塚亀之助氏
	38. 4. 1	3代校長着任 木暮治作氏
	41. 4. 1	4代校長着任 茂木福太郎氏
	41. 4. 1	小学校令改正 別府尋常小学校と改称
	41. 4. 1	5代校長着任 田野代太郎氏
	43. 6. 1	6代校長着任 真下庄三郎氏
	44. 4. 1	7代校長着任 馬場民八氏
大正	10. 4. 1	高等科を併置、別府尋常高等小学校と改称
	12. 4. 1	8代校長着任 木村修一氏
	15. 4. 1	9代校長着任 田尻正一氏
昭和	4. 4. 1	10代校長着任 小林雄一郎氏
	11. 8. 1	11代校長着任 長谷川時二氏
	14. 4. 1	12代校長着任 浅見兵左衛門氏
	16. 4. 1	別府国民学校と改称
	17. 4. 1	13代校長着任 清水重平氏
	22. 4. 1	学制改革により別府小学校と改称
	22. 4. 1	14代校長着任 塚田恒作氏
	27. 4. 1	15代校長着任 清水徳重氏
	29. 5. 1	16代校長着任 柴崎正作氏
	29. 11. 13	熊谷市へ合併、熊谷市立となる
	36. 4. 1	17代校長着任 福田善正氏
	37. 4. 1	18代校長着任 飯田国治氏
	40. 4. 1	19代校長着任 中村隆近氏
	42. 10. 5	校旗・校歌の制定
	44. 4. 1	20代校長着任 村岡慶三氏
	47. 4. 1	21代校長着任 坂下 優氏
	49. 3. 28	開校100周年記念式典
	49. 4. 1	22代校長着任 木村 稔氏
	52. 4. 1	23代校長着任 三沢米子氏
	54. 4. 1	24代校長着任 吉岡 孝氏
	57. 4. 1	25代校長着任 森田賢次氏
	59. 4. 1	26代校長着任 飯田司朗氏
	61. 4. 1	27代校長着任 大島清肆氏
	61. 12. 15	新学校校舎・体育館・校庭竣工
	62. 7. 15	新学校プール竣工
平成	元. 4. 1	28代校長着任 高橋忠清氏
	3. 4. 1	29代校長着任 風間 勲氏
	6. 4. 1	30代校長着任 高柳 進氏
	7. 2. 28	生活科・観察池竣
	8. 4. 1	31代校長着任 高松明子氏
	8. 11. 22	埼玉県教育委員会・熊谷市教育委員会委嘱 放送教育研究発表
	9. 2. 26	新校舎等移転・竣工10周年記念式典
	11. 4. 1	32代校長着任 前原信芳氏
	13. 10. 17	熊谷市教育委員会委嘱 学校同和教育研究発表3
	14. 4. 1	33代校長着任 角田光男氏
	15. 11. 5	埼玉県教育委員会・熊谷市教育委員会委嘱 体力向上研究発表
	16. 5. 1	熊谷警察署指定交通安全教育推進モデル小学校
	18. 4. 1	34代校長着任 丸山公久氏
	20. 4. 1	35代校長着任 松葉定市氏
	23. 11. 8	埼玉県教育委員会・熊谷市教育委員会委嘱 道徳教育研究発表
	24. 4. 1	36代校長着任 堀 喜久男氏
	25. 10. 8	開校140周年記念集会
	27. 4. 1	37代校長着任 堀越尊夫氏



# 学校教育目標 高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

目指す児童像（校訓）		家庭・地域との連携
【知】 進んで学習する子（明るく）	【徳】 他人を思いやる子（正しく）	
<b>重点目標</b> 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と活用する力の育成	心豊かな生き方のできる児童の育成の推進	体力向上の推進 （新体力テストの達成率、県平均を上回る項目の80%達成）
<b>本年度の努力点</b> ①学習内容を明確にした「できる」「わかる」授業の実践 ・言語活動・英語活動の充実 ・体験的な学習、協働的な学習の実践 ②校内「読む、書く」「計算」達成テストで、全学年98%以上達成 ・漢字検定、計算検定の実施 ・ドリルタイム、補充学習の充実 ③家庭学習の奨励 ・家庭学習の習慣化(90%以上)(学年×10分+α) ・宿題の見届け	①「4つの実践」「3減運動」の推進 ・進んであいさつ元気な返事 ・心を磨く清掃活動 ・読書活動の充実(学年ごとの年間目標)90%以上達成 ②インクルーシブ教育体制の整備 ・人権教育上の視点を明確にした授業公開(全学級年1回) ・保護者参加型道徳授業の実践(全学級) ③いじめを許さない学校づくり ・学校生活アンケートの実施(児童は毎月、保護者は年4回) ・全員に活躍の場を与える持続的な学級経営 ・生徒指導マニュアルの共通理解、共通実践(毎月情報提供の実施)	①体育授業等の充実 ・体力指導専門員を活用した授業力の向上 ・遊具やサーキットを活用した授業の向上 ②新体力テスト個人目標の設定と達成のための支援 ・新体力テスト年間2回実施 ③家庭との連携 ・親子運動カードを活用した親子運動の実施と見届け(年間10回)

## 経営方針

教育課題解決に向けて、全職員が積極的に経営参加し、学校教育目標の達成に努める。

## 目指す学校像

居がい やりがい 学びがい のある学校

## 学校研究課題

『外国語の基本的な表現を用いて、思いや考えを伝える児童の育成』

～音声から文字へ、4技能の系統的な指導を通して～

『熊谷の子どもたちは、これができます！』

### 4つの実践 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんね」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

### 3減運動 ブレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。